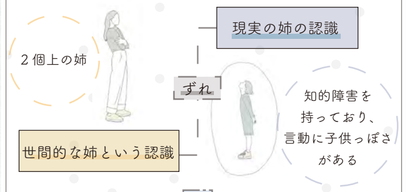
個性と住まう

知的障害が生む“個性”と向き合うための非言語的コミュニケーション空間からなる住空間の提案

「知的障害の方の暮らし」というのは理解者の存在あってこその暮らしである。しかし、現代の住居において、“共に暮らす”にはあまりにも不向きである。そこで、知的障害を持つ姉を対象に、知的障害が生む個性を享受するような機能をもつ「すまいが理解者」となるようなプロトタイプの住居的施設を提案する。

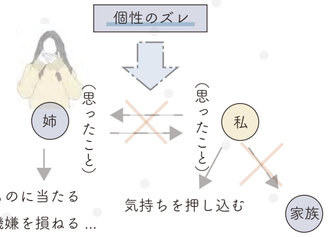
01. 背景： 幼い妹のような姉という存在



姉に対しての接し方がわからなくなり、
いつからか自分から話しかけることすら
できなくなってしまい、向き合えずにいる

その一因として

生活を共にする上で知的障害が生む個性のズレがチグハグを生み、それに対し、
私自身が心理的抑制をかけてしまっている



02. 仮説：知的障害が生む個性との向き合い方

知的障害者にとって、理解者の存在は必須であり、
その存在は、コミュニケーションのきっかけを作り、
わからないことなどを補完する

しかし、実際に生活する中で、理解者の存在だけでなく、
「理解を深めきっかけを生む、個性を享受する、意図を補完する」
ような空間を住空間へ機能的に展開する必要性を肌で感じている

私は、そのような空間を
非言語的コミュニケーション空間と定義する

非言語コミュニケーション
- 身体動作
- 身体特徴
- 接触行動
- 近言語
- プロクセミクス
- 人工物の使用
- 環境

役割
- 話の内容の補完
- 信頼関係の構築
- 相手への理解を深める

※プロクセミクス
：距離の取り方による意志の伝達手段

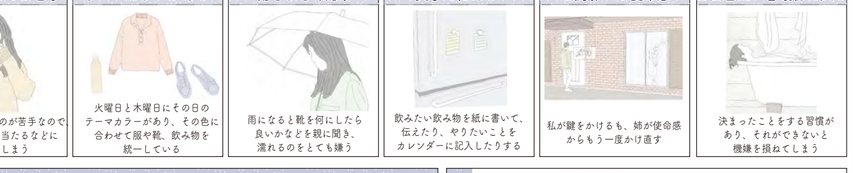
非言語的
コミュニケーション空間
- 理解を深め きっかけを生む
- 個性を享受する
- 意図を補完する

空間への転用

- 配置
- 建具・家具
- 建築的形態

姉の個性の一例

ドアを閉める音	休みが嫌い	観察力がある	母の呼びかけ	思いを伝えるのが苦手	テーマカラーがある	雨をひどく嫌う	文字で伝える	玄関扉への使命感	お風呂は一番最初に入る
私の閉める音の大きさが、姉にとってうるさく感じ、ドアを思い切り締め返されてしまう	ひとりで行き慣れていないところに行くのが困難なため、自宅にいるばかりの休日を嫌う	観察力があり、変化に敏感アンテナを人より張っているせいかかなり気になってしまう	1階からの母の大きな呼びかけを嫌い、機嫌を悪くしてしまう	人に思いを伝えるのが苦手なので、伝え方がものに当たるなどに変わってしまう	火曜日と木曜日にその日のテーマカラーがあり、その色に合わせて服や靴、飲み物を統一している	雨になると靴を何にしたら良いかなどを親に聞き、濡れるのをとても嫌う	飲みたい飲み物を紙に書いて、伝えたり、やりたいことをカレンダーに記入したりする	私が鍵をかけるも、姉が使命感からもう一度かけ直す	決まったことをする習慣があり、それができないと機嫌を損ねてしまう

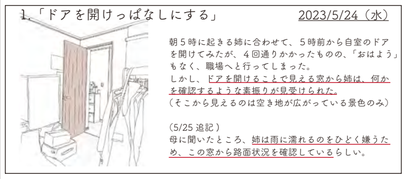


03. 手法： 空間を構築する要素の模索

1. 日々の備忘録

視覚的なアプローチによる、個性またはある種の
コミュニケーションの有無の記録

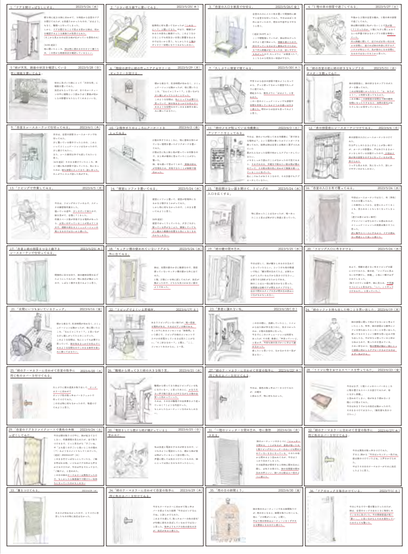
1.「ドアを開けっぱなしにする」 2023/5/24（水）



朝５時に起きる姉に合わせて、５時前から自室のドアを開けてみたが、４回過ぎかかったものの、「おはよう」もなく、職場へと行ってしまった。
しかし、ドアを開けることで見える窓から姉は、何かを確認するような素振りが見受けられた。
（そこから見えるのは空３地が広がっている景色のみ）

（5/25 追記）
母に聞いたところ、姉は雨に濡れるのをひどく嫌うため、この窓から路面状況を確認しているらしい。

36 の備忘録

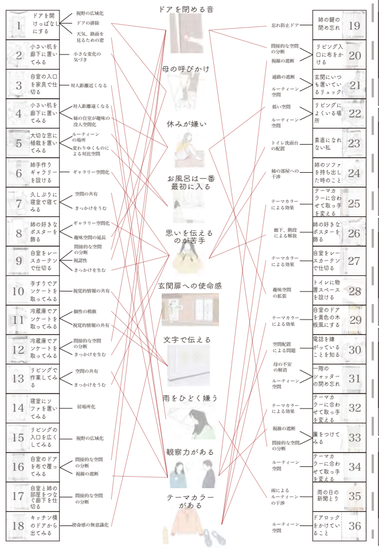


2. 分析による要素の抽出

非言語的コミュニケーション空間に
なりうるエレメントを抽出する

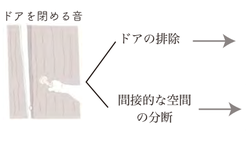
- 視野の広域化
- 天気、路面を見るための窓

視覚的アプローチの分析による
要素の抽出と個性との関係図

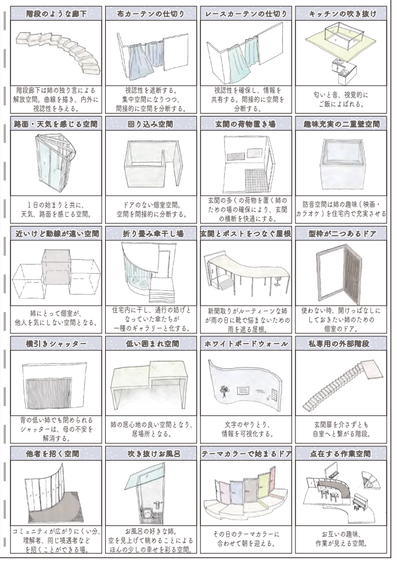


3. 個性との関係より空間を構築

姉の個性に寄り添った非コミュニケーション的空間
を構築し、空間的用途によって組み合わせていく



20 のエレメント



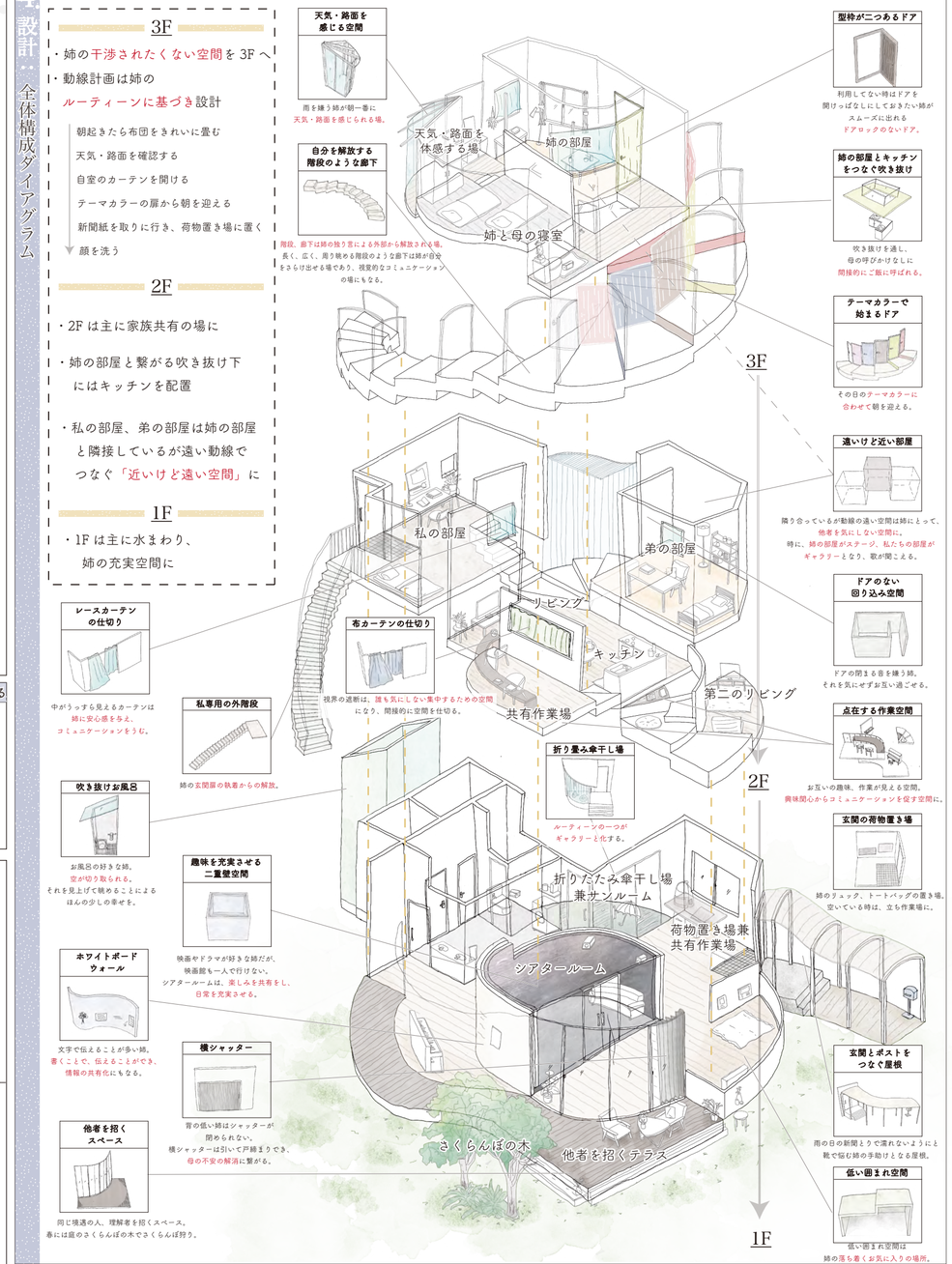
04. 設計： 全体構成ダイアグラム

設計手順　3F から設計を行い、エレメントを用いてそれぞれの関係性から空間を構成する

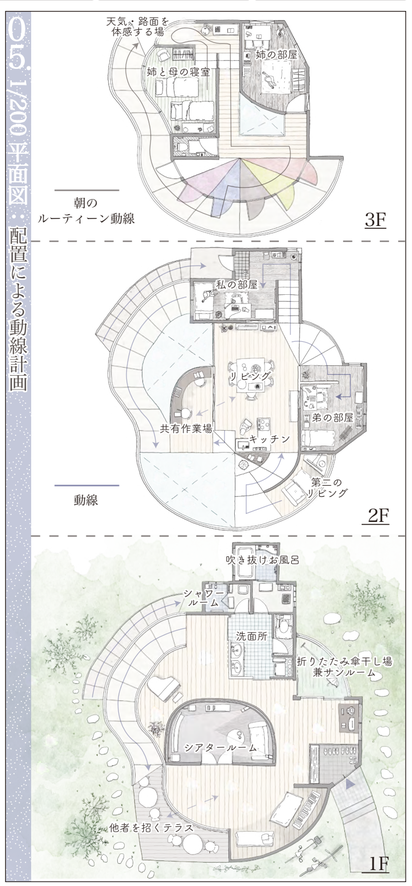
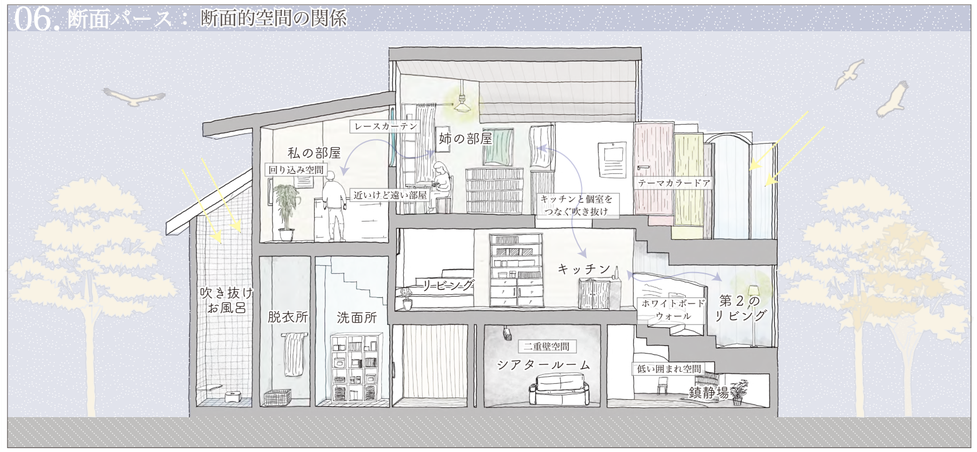
3F
- 姉の干渉されたくない空間を 3F へ
- 動線計画は姉の ルーティーンに基づき設計
  - 朝起きたら布団をきれいに畳む
  - 天気・路面を確認する
  - 自室のカーテンを開ける
  - テーマカラーの扉から朝を迎える
  - 新聞紙を取りに行き、荷物置き場に置く
  - 顔を洗う

2F
- 2F は主に家族共有の場に
- 姉の部屋と繋がる吹き抜け下にはキッチンを配置
- 私の部屋、弟の部屋は姉の部屋と隣接しているが遠い動線でつなぐ「近いけど遠い空間」に

1F
- 1F は主に水まわり、姉の充実空間に



05. 1/200 平面図： 配置による動線計画



06. 断面パース： 断面的空間の関係